

戦略的創造研究推進事業 AIP ネットワークラボ

「日独仏 AI 研究」公募要領

公募期間：令和元年 7 月 30 日（火）～同年 10 月 25 日（金）17 時（日本時間）

■背景

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、ドイツ研究振興協会（DFG）およびフランス国立研究機構（ANR）と協力し、人工知能分野での三国共同研究の公募、共同支援を行うことに合意し、三機関での本共同研究に関する書簡（LOI）に署名することに至りました。今回、「人工知能分野」に関する共同研究提案を公募いたします。

■予算配分機関

日本側： 科学技術振興機構（JST : Japan Science and Technology Agency）

独国側： ドイツ研究振興協会（DFG : German Research Foundation）

仏国側： フランス国立研究機構（ANR : French National Research Agency）

■公募領域・評価項目

本公募の事務局である ANR のサイトに掲載されている公募要領(英語)を参照ください。併せて、日本側研究代表者は「公募要領別紙」も参照し、注意事項等をご確認ください。

<https://anr.fr/en/open-calls/french-german-japanese-AI>

以下、公募要領より公募領域該当箇所について抜粋

This call is intended to finance research projects in artificial intelligence, in the broad sense, on methodological advancement in core AI technologies and emerging AI technologies. The following themes are given as examples:

- knowledge extraction and learning: data mining and text mining, machine learning (super-vised, self-supervised, unsupervised, by reinforcement, ...), complex decision rules design, decision process modeling and construction of decision support tools;
- knowledge management methods and models, including knowledge representation and theories of knowledge reasoning, ontologies and their use in data enrichment and

information retrieval, multi-agent systems, and the semantic web, etc.

- ・ advancing the state of the art in artificial intelligence in order to accomplish complex tasks (computer vision, natural language and speech processing, etc.), developing autonomous decision-making systems or allowing high-level interactions with human users.
- ・ human-centered approaches towards artificial intelligence methods, eg. considering, trust-ed AI, GDPR in future AI, democratization of AI, integrity of data for fairness, AI ethics to avoid gender/age segmentation.

■申請方法

- ① 日独仏各国の研究代表者は共同で研究提案書（英語）を作成する（記載事項および研究提案書様式は ANR サイトを参照のこと）。
- ② 日本側研究代表者は、日本側申請書（和文）を作成する（申請書は日本側募集サイトを参照のこと）。
- ③ 各国の研究代表者は、共同で作成した研究提案書（英語）を公募期間内に自国の予算配分機関指定の電子申請システムを用いて期限内に提出する。

日本側研究代表者は、e-Rad システムへ必要項目の入力と合わせて研究提案書（英語）と共に「日本側申請書（和文）」を添付し申請する。「日本側申請書（和文）」は e-Rad システムによる申請時のみ必要となります。他国の電子申請システムにおける申請時には添付は不要です。

- ・ e-Rad (<https://www.e-rad.go.jp/>)

e-Rad システムの詳細な操作方法については公募要領別紙の「第 5 章 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）による応募方法等について」をご参照ください。e-Rad の操作に関することは、e-Rad ヘルプデスク（電話番号：0570-066-877）へお問い合わせください。

公募締切当日は、e-Rad システムが混雑し、入力作業に著しく時間を要する恐れがあります。締切の十分前に余裕を持って e-Rad への入力を始めてください。

※公募締切までに日独仏各国での申請が完了しなかった場合は、いかなる理由があっても審査の対象になりませんのでご注意ください。

■応募要件

応募要件は以下の通りです。

応募要件に関して、以下のことを予めご承知おきください。

- ※ 採択までに応募要件を満たさないことが判明した場合、原則として、研究提案書の不受理、ないし不採択とします。
- ※ 応募要件は、採択された場合、当該研究課題の全研究期間中、維持される必要があります。研究期間の途中で要件が満たされなくなった場合、原則として当該研究課題の全体ないし一部を中止(早期終了)します。
- ※ 独国、仏国側応募要件の詳細に関しては各国の担当者へお問い合わせください。

日本側研究代表者の要件：

- ・ 日本側研究代表者は研究期間中、日本国内の大学、独立行政法人などの〈大学等〉に区分される研究機関に所属していること。国籍・役職に制限はありません。
※ 申請時に日本国内の〈大学等〉に区分される研究機関に所属していない場合は、申請前に rp-info@jst.go.jp までご連絡ください。
※ 〈大学等〉とは以下に掲げる研究機関の総称です。該当するか不明な場合には、申請前に rp-info@jst.go.jp までご連絡ください。
 - ・ 国立大学法人、公立大学、私立大学等の学校法人
 - ・ 国公立研究機関、公設試験研究機関、独立行政法人等の公的研究機関
 - ・ 公益法人等の公的性格を有する機関であって、JST が認めるもの
- ・ 全研究期間を通じ、日本側研究チームの責任者として研究課題全体の責務を負うことができる研究者であること（詳細は「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」を参照ください）。
- ・ 所属研究機関において研究倫理教育に関するプログラムを予め修了していること。または、JST が提供する教育プログラムを応募締切までに修了していること（詳細は「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」を参照ください）。
- ・ 応募にあたって、以下の 4 点を誓約できること。
 - ・ 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成 26 年 8 月 26 日文科科学大臣決定）」の内容を理解し、遵守すること。
 - ・ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）（平成 26 年 2 月 18 日改正）」の内容を理解し、遵守すること。
 - ・ 研究提案が採択された場合、研究参加者（研究代表者、主たる共同研究者、研究に従事

する研究員、技術員、研究補助員、学生等)は、研究活動の不正行為(捏造、改ざん及び盗用)並びに研究費の不正使用を行わないこと。

・ 本研究提案書に記載している過去の研究成果において、研究活動の不正行為は行われていないこと。

※ e-Rad の応募情報入力画面で、確認をしていただきます。

日本側主たる共同研究者の要件：

日本側研究代表者は、自身の研究室メンバー等による「研究代表者グループ」のみによって構成された研究チームの編成も可能であり、また、研究構想を実現する上で必要な場合に限り、その他の研究室あるいは研究機関に所属する研究者等からなるグループ「共同研究グループ」を含めた研究チームの編成とすることも可能です。研究チームを構成する研究者のうち「共同研究グループ」を代表する方を「主たる共同研究者」といいます。

・ 日本側主たる共同研究者は研究期間中、日本国内の大学、独立行政法人などの〈大学等〉に区分される研究機関に所属していること。国籍・役職に制限はありません。

・ 全研究期間を通じ、共同研究グループの責任者としてグループ内の責務を負うことができる研究者であること（詳細は「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」を参照ください）。

日本側研究機関の要件：

・ 研究機関は、研究を実施する上で、委託研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守するとともに、研究を効率的に実施するよう努めなければなりません。「日本側応募者への応募にあたっての注意事項」に掲げられた責務が果たせない研究機関における研究実施は認められませんので、応募に際しては、研究の実施を予定している研究機関の事前承諾を確実に得てください。

・ 本研究公募では、民間企業研究グループ等の〈大学等〉以外の研究機関への委託研究費の配分はありません。ただし、必要となる研究活動費を独自に確保した上での研究への参加は可能です。

■公募期間：

日本側 令和元年 7月30日(火)～同年10月25日(金) 17:00(日本時間※)

独国、仏国側 令和元年 7月30日(火)～同年10月25日(金) 10:00(中央ヨーロッパ夏時間)

※公募要領にも JST へ提出が必要であることが記載されていますが、日本側研究代表者の責任にて、共同で作成した研究提案書（英語）および日本側申請書（和文）を e-Rad へ登録申請してください。

■支援内容

○委託研究費：

JST は日本側研究チームに対し、DFG は独国側研究チームに対し、ANR は仏国側研究チームに対して研究費を提供します。

本公募で JST が日本側研究チームを支援する予算の総額は、全研究課題合計、約 3 年間で 3 億円（直接経費）程度を予定しています。共同研究課題が採択された場合、JST は委託研究契約に基づき、研究費(直接経費)に間接経費（直接経費の 30%が上限）を加え、委託研究費として研究機関に支払います。独国側研究者ならびに仏国側研究者にはそれぞれ総額 250 万€（約 3 億円）程度が、DFG、ANR より配分される予定です。各研究チームに配分される研究費は提案内容、評価結果、採択件数などを考慮し決定されます。

○採択予定数：

10 件程度

○委託研究期間（予定）：

研究期間は約 3 年間です。JST は令和 2 年 4 月からの研究開始を予定しています。委託研究の終了について、JST は令和 5 年 3 月末を予定していますが、DFG および ANR は研究開始日より 36 ヶ月を予定しております。

■委託研究に関する内容

今回の公募によって行われる研究は、日独仏の研究者間での国際共同研究の進展を促進するためのものです。JST は日本側研究チームに対し、DFG は独国側研究チームに対し、ANR は仏国側研究チームに対して研究費を提供します。

従って、JST が提供する委託研究費は、日本側研究チームが国際共同研究実施に必要な研究費が対象となります。（※旅費について JST は日本側研究チームの旅費を、DFG は独国側研究チームの旅費を、ANR は仏国側研究チームの旅費を負担します。）

■日本側研究代表者が e-Rad へ提出する書類

①共同研究提案書（英文）.pdf

②日本側申請書（和文）.pdf

- ・ 2 種類の申請書類は一つに統合せずに、それぞれ別ファイルとしてアップロードをしてください。
- ・ 「日本側申請書（和文）」には、日本側研究チームが必要とする直接経費の予算計画を記入してください。千円未満は切り捨てです。
なお、採択後に政府予算等の都合のため委託研究費が調整されることがあります。
- ・ e-Rad にアップロードできる 1 ファイル当たりの最大容量は 10MB です。
- ・ e-Rad への登録が完了すると、申請の種類（ステータス）が「配分機関処理中 申請中」と表示されます。
- ・ 公募期間終了後、申請書類に不備がないこと、応募要件を満たしていること、各国でも応募がなされていることを確認したうえで、申請が正式に受理されます。正式に受理されると、応募情報のステータスが、「受理済」に変わります（相手国側との調整で数ヶ月要する場合があります）。
- ・ 本公募では、書類審査のみを予定しております。申請書類内容について、メール（rp-info@jst.go.jp）等で日本側研究代表者に問合せをすることがあります。

■結果の通知

選定の結果については、令和 2 年 3 月上旬に通知する予定です。各国との調整等の関係で通知が遅れる場合があります。

■問い合わせ

日本側：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

戦略研究推進部 AIP ネットワークラボ担当

TEL：03-3512-3526 FAX：03-3222-2066

E-mail: rp-info@jst.go.jp

※お問い合わせは、なるべく電子メールにてお願いします。

※電話受付：10:00～12:00・13:00～17:00／土日祝除く

独国側：

ドイツ研究振興協会（DFG : German Research Foundation）

Dr. A. Raabe

andreas.raabe@dfg.de

仏国側：

フランス国立研究機構（ANR : French National Research Agency）

Dr F. Precioso

frederic.precioso@anr.fr